

応募要項

- 応募資格:自由(プロ・アマ・国籍・年齢を問いません)
- 撮影場所:観光グランドデザイン部門およびスマイル部門は可児市内で撮影、名鉄広見線部門は、名鉄広見線沿線(犬山駅～御嵩駅)で撮影されたものに限りです。
- 応募規定:未発表のもので、平成27年9月以降に撮影された作品でひとり3点まで。(但し、入賞はひとり1作品)
- サイズ:カラープリント四つ切又は、ワイド四つ切(デジタルカメラ作品は可、但し、合成加工は不可)
※スマイル部門についてはサイズの指定はありません。
- 応募方法:応募票に必要事項を記入の上、作品の裏面に貼り付け、郵送または持参してください。
- 応募期間:平成29年9月15日(金)から平成30年1月12日(金)
- 応募先:可児市観光協会事務局(可児市観光交流課内)
〒509-0292 可児市広見一丁目1番地
TEL0574-50-7056
- 審査:主催者が選定した審査員で行います。
- 発表:平成30年2月下旬に入賞者ご本人に通知します。

応募上の注意

- 名鉄広見線部門の応募写真の撮影は、電車の往来に十分注意し、軌道内、禁止されている場所からの撮影は禁止とします。これに該当する作品は対象外とさせていただきます。
- ドローン撮影での写真も可能としますが、撮影にあたってはルール・マナーを遵守し周辺の安全に十分配慮してください。

- 入賞作品の著作権は撮影者(応募者)に帰属します。
- 入賞作品は主催者や関連団体等の広報活動に無償で優先的に使用させていただきます。
- 入賞された方は、新聞等に氏名、住所等が発表されることがあります。
- 入賞が内定された方は、指定期日までに原版(デジタル作品はCD-R)の提出をもって入賞とします。
- 応募作品は返却致しません。
- 人物が写っている場合は、主催者において肖像権等の責任は一切負いかねます。必ずご本人(被写体)の承諾をいただいでください。
- 応募規定に違反したと主催者が判断した場合には、応募・入賞を取り消して賞金等を返還していただく場合がございます。

賞

- ☆グランプリ 3部門の中から1名・Kマネー5万円・賞状
 - ☆可児市観光協会長賞 観光グランドデザイン部門1名・Kマネー3万円・賞状
 - ☆ZENT賞 スマイル部門1名・Kマネー3万円・賞状
 - ☆名鉄広見線活性化協議会長賞 名鉄広見線部門1名・Kマネー3万円・賞状
 - ☆入選 各部門3名(計9名)・Kマネー5千円・賞状
 - ☆佳作 各部門5名(計15名)・Kマネー2千円・賞状
- ※Kマネーは、可児市内の協力店でご利用いただける地域通貨です。

作品展示

○可児市役所ロビー、関連施設での展示。観光協会HPに掲載

第15回 可児市観光協会フォトコンテスト

応募票

部門	・観光グランドデザイン 部門 ・スマイル 部門 ・名鉄広見線 部門 (○で囲む)			
作品題名				
作品紹介				
撮影場所	撮影日	年	月	日
住所	〒 ー 電話番号() ー			
氏名	ふりがな	性別	男・女	年齢
		年齢	歳	

第15回 可児市観光協会フォトコンテスト

応募票

部門	・観光グランドデザイン 部門 ・スマイル 部門 ・名鉄広見線 部門 (○で囲む)			
作品題名				
作品紹介				
撮影場所	撮影日	年	月	日
住所	〒 ー 電話番号() ー			
氏名	ふりがな	性別	男・女	年齢
		年齢	歳	

可児市 観光協会

第15回

フォト コンテスト

応募
期間

平成29年 9月15日(金) ▶ 平成30年 1月12日(金)

テーマ

- ◆観光グランドデザイン部門
「可児市観光グランドデザイン」の7つの柱のいずれかをテーマにした可児市の魅力が伝わる写真
- ◆スマイル部門
人物をテーマとし、写真を見ただけで笑顔になる心むく写真
- ◆名鉄広見線部門
電車や駅舎など、名鉄広見線の魅力を幅広く紹介・宣伝出来る写真

問合せ先

可児市観光協会事務局(可児市観光交流課内)
TEL.0574-50-7056

※応募事項、応募上の注意、応募方法はチラシの裏面をご確認ください。

賞

- ◆グランプリ◆
3部門の中から1名………Kマネー5万円・賞状
- ◆可児市観光協会長賞◆
観光グランドデザイン部門1名…Kマネー3万円・賞状
- ◆ZENT賞◆
スマイル部門1名………Kマネー3万円・賞状
- ◆名鉄広見線活性化協議会長賞◆
名鉄広見線部門1名………Kマネー3万円・賞状

※その他、各部門につき入選3名、佳作5名を表彰します。

主 催／可児市観光協会 ■協 賛／株式会社 善都、名鉄広見線活性化協議会 ■後 援／可児市、可児商工会議所

第14回 グランプリ「初めての。」中村 美智子

第14回 可児市観光協会長賞「IKUSA」松井 英次

第14回 ZENT賞「青空へジャンプ」大竹 満明

第14回 名鉄広見線活性化協議会長賞「田水張る頃」早川 幸夫

7 GRAND DESIGN

今年度も昨年に引き続き「観光グランドデザイン部門」を設定いたします。この部門では地方創生実現のために可児市が行う施策の計画書である「可児市観光グランドデザイン」にある7つの柱のいずれかをテーマにした写真を広く募集します。概要は以下となり、詳しくは市役所観光交流課に備えてある冊子で確認できます。

I 美濃桃山陶の聖地

コンセプト 本質に触れる

概要 可児郷土歴史館を入口に、次第に深い美濃桃山陶の世界へと旅し、そこで本質に触れていただきます。陶芸家の作陶場を訪れて陶芸家の話を聞いたり、荒川豊蔵資料館で作品を見たり、旧荒川豊蔵邸の見学や付近の散策をするなど、本質に触れる体験ができるよう陶芸家らと協働のうえ、進めてまいります。

日本の芸術の原点、そして日本が世界に誇るものづくりの原点である「美濃桃山陶」。ここは、芸術やものづくりをめざす人たちのパワースポットでもあります。

撮影ポイント! PRイベント、地元陶芸家の窯元めぐりなど ※作品・場所等撮影するときは、了承を得てください。

II 戦国城跡巡り

コンセプト 本物の価値を知る

概要 戦国時代、地理的条件から多くの城が築かれた可児市。今でも市内には多くの城跡が残ります。特に国史跡「美濃金山城跡」は信長も訪れたと伝わり、現在も手つかずの遺構が残る大変貴重な城跡です。そこには、400年前と同じ風景があります。何も足さない。何も引かない。当時の武将が見たままの風景を楽しんでいただけます。頂上の本丸跡からは木曽川や兼山のまちが一望でき、往時の湊やまちのにぎわいに想いを馳せることができます。

撮影ポイント! 城跡、甲冑、チャンバラ合戦など

III 木曽川左岸・鳩吹山周辺 癒しの空間

コンセプト 自然に癒される、水辺で遊ぶ

概要 木曽川や鳩吹山周辺の自然景観の美しいこの地域では、安らぎと癒しを体験できる場所です。現在でも市内外から多くの人々が訪れる人気のスポットですが、自然の地域資源を結ぶことによりさらに魅力を向上させます。

撮影ポイント! 竹林、河川、鳩吹山 もみじ祭、カタクリまつりなど

IV 可児駅前にぎわい空間

コンセプト 元気発信

概要 乳幼児や母親、父親、子どもや高齢者、あらゆる世代が出会い、交流する、そんな場所が「可児市子育て健康プラザ」です。

この施設は子ども、子育て世代の応援の中核を担う拠点ですが、子育て以前の若い世代も集まり、自己表現や他者とつながる楽しみを体験できる場でもあり、世代間の交流ができる広場機能を備えます。

この施設を核にして、可児市の真ん中から、可児市民の元気を発信してまいります。

撮影ポイント! 可児駅前など

第15回 フォトコンテスト

応募期間 平成29年9月15日(金) ▶ 平成30年1月12日(金)

V 花フェスタ記念公園

コンセプト 四季を通じて愛でる公園

概要 世界最大級のバラ園を有する花フェスタ記念公園は、高いポテンシャルを持つ大きな集客施設です。年間を通じて魅力を持つ公園、また、可児市の観光交流の東の入口となる仕掛けをしてまいります。

撮影ポイント! 花フェスタ記念公園内、イベントなど

VI アーラエリア

コンセプト お洒落な空間

概要 先進的な取組みが全国から評価されている文化創造センター「アーラ」は公演やイベント以外にも多くの人で賑わう市を代表する施設です。質の高い芸術文化に触れ、日頃の活動を発表する場であるとともに、多くの人が日常的に集い交流する場であるこの施設を中心にカフェやレストランなどを集め、一帯を若者たちの集うおしゃれなエリアとします。

撮影ポイント! アーラ内、イベントなど

VII ゴルフツーリズム

コンセプト ゴルフ交流

概要 可児市には、8ヶ所のゴルフ施設があり、年50万人を超えるゴルファーの皆さんにご利用いただいています。市内はもちろん県外からの利用も多く、可児市を代表する観光資源の一つとなっています。健康づくりにも効果が期待できるゴルフを市民スポーツとして、普及するとともに、優れた自然環境、名古屋圏、国際空港からのアクセスの良さ、買い物や温泉などの他の観光資源との連動性の良さを活かし、全国、海外からの誘客を拡大します。

特にアジアを中心にした外国人観光客は高い購買力を有する富裕層であり、インバウンドにおいて高いポテンシャルを備えていることから、インバウンドによる交流人口の増加を図ります。

撮影ポイント! 市民ゴルフ大会、オープンゴルフ大会など

